



ビジュアルアートブック出版に向け、協力を呼びかける
山本代表(右)と錦織監督

貴重なシヨット収録

ビジュアルアートブック

出版資金をCFで募る

映画『遙かな町へ』

倉吉ノスタルジー

倉吉市が舞台の映画『遙かな町へ』の製作を担う倉吉ニューシネマプロジェクト(代表、山本敬バルコス社長)が、作品の魅力を写真で伝える「ビジュアルアートブック」を出版する。俳優陣やロケ地を切り取った約100枚を収録。映画公開日の10月9日に発売する予定で、昭和の面影を残す倉吉を全国に発信する。「映画で表現された美しい倉吉が、世界に誇れる場

所だと知ってほしい」(山本代表)と企画した。

写真は、元ロイター通信員で、現在は全国のネオン街や海外の少数民族などさまざまな被写体に迫る写真家・中村治さん(54)が担当。昨年8〜9月、ロケに帯同して撮りためた約4万枚の中から、俳優陣の真剣なまなざしやカメラが止まっている間のオフショットなど貴重な作品を厳選して

掲載。錦織良成監督(64)と主演の大谷亮平さん(45)らとの対談も計画中だ。

9月30日までクラウドファンディングサイト「レディフォー」で資金を募集。30万円以上寄付すると、ロケ地で中村さんに写真を撮影してもらえる返礼品が用意されている。

山本代表は「ページをめくる度、映画が生まれた日々を感じてもらえる一冊にしたい」と支援を呼びかける。(井田慎一)

日本海新聞 (2026.8.21_21面)